

ご 挨拶

前橋と云う比較的交通および宿泊の不便な地でもあり、又、CTや超音波などのインパクトの問題も考えられましたので、どの程度御参加戴けるかと多少の不安がありましたが、一般演題の御応募は394題にものぼり、過去を大きく上まわりました。更めて核医学の堅実な発展を会員の皆様と共に喜びたいと存じます。

学術発表は第1～第5会場で行われます。各会場はいずれも昨年より広いので、入場出来ないと云う御迷惑をおかけすることは少いと思います。第5会場ではラウンドテーブルディスカッションのみを行います。ラウンドテーブルディスカッションは座長を中心にくつろいで掘り下げた議論をしていただける様にセットしてあります。今年度は新しい試みとして3つの公募演題のセッションをもうけました。いずれも従来比較的兴趣の少なかった分野ですが、将来当然発展すべき分野です。この総会を機会に関心が高まることを期待しています。ラウンドテーブルディスカッションと公募演題の一部は座長のまとめを第3日、第1会場で発表していただくことになっています。

昨年同様研究速報セッションをもうけ、又研究速報データ集も配布します。産学間の知識交流の場になることを期待しています。

今回は20周年記念総会のため式典を第1日第1会場で行い、茅先生に御祝辞を戴くことになっております。日本核医学会は日本アイソトープ協会での研究会が母体となっていますので更めてこの機会に日本アイソトープ協会会長である茅先生に心より謝意を表したいと存じます。

米、英、仏よりの特別講演者、招待講演者も記念総会のため必然的に多くなりました。会員の皆様に大いに国際学術交流をもりあげていただける様お願いいたします。

一般演題では心臓核医学の益々の発展とRCTの登場がめだっています。昨年のメインテーマであったサイクロトロン核医学を継続すべく今年度は同主題をシンポジウムとしてとりあげました。国内外のエキスパートによる発表、討論は必ず本分野の我国での今後の発展に資する所大であると確信しています。唯、今年度は演題数の関係でシンポジウムを他のセッションと同時に進行せざるを得なくなりました。これは当然一部の会員の皆様に御不満を残す結果になると懸念されますが、事情を御理解戴ければ幸いです。

機器、医薬品展示は県民会館内展示場で行いますので、多少せまいきらいはありますが、参加会員全員にお立寄り戴けるものと期待しています。特別展示として現在ワシントンスミソニアン博物館に所蔵され

ている Dr. Cassen の世界第一号スキャナー，および我国での国産第一号スキャナーの展示を計画しています。

ビジネス総会は第2日，第1会場で，懇親会は会場前の前橋商工会議所ホールで行います。多数の御参加をお願い申し上げます。

（尚，総会翌日の16日に行いますサテライト会議 院内用サイクロトロンとポジトロン CT は約10名の御登録を戴きました。）

関係者一同本総会の成功を願って最大の努力をしてみりましたが，何分不馴れのため不行届きの点もあろうかと思ひます，よろしく御容赦戴きたくお願い申し上げます。

日本核医学会会長

永 井 輝 夫